

【取組内容③】 校務の効率化 タブレットを活用した授業研究会



1 ねらい

小中一貫校として小中合同授業研究会をタブレットを活用しての研究会とし、校務の効率化と教員のスキル向上を図る。

2 活用法

- ①模造紙に付箋を貼るワークショップ形式から、学習支援ソフトを活用しての形式に変え、タブレットで共有しながら話し合えるようになった。
- ②感染拡大予防のため、小学校と中学校をオンラインで結んでワークショップ形式で行うこともできた。
- ③学校公開研究会では、参会者の質問意見を学習支援ソフトで整理・提示しながら話し合いを進めた。



3 効果

- ・教職員の学習支援ソフトの使い方が向上し授業での活用も積極的になった。